



長尺ロッドを用いた温度監視システム

困難部位の熱画像を安全に観察できる赤外線カメラシステムです。

困難部位の熱画像を安全かつ詳細に観察

- 観察対象が高所や複雑な構造物の裏側の場合、地上設置の赤外線カメラでは観察できません。工場プラントや高層建築現場では観察ニーズがありました。安全面の理由から断念していましたが、ハンドヘルド型の赤外線カメラもありますが、遠隔部位に近接した観察はできません。そこで長尺ロッドと小型赤外線カメラとWindowsタブレットPCの組み合わせにより安全かつ詳細に観察できるシステムを構築しました。

長尺ロッドを用いた遠隔温度観察システム

● システムの特長

軽量のカーボン製ロッドの先端に赤外線カメラを据え付けます（4500mmまで伸張可能）。劣悪な周囲環境に耐える金属筐体の赤外線カメラを採用します（測定範囲：0～250℃、150～900℃：測定精度±2℃）。タブレットPCからUSBケーブルで赤外線カメラに電源を供給し同一のケーブルで熱画像データを取得します。長尺ロッドにケーブルを中通しすることで周囲の構造物に絡まずケーブルの熱保護も万全です。電源のない屋外での観察行動が可能です（連続行動時間：約5時間 ※バッテリー健全時）。

● 観察画面

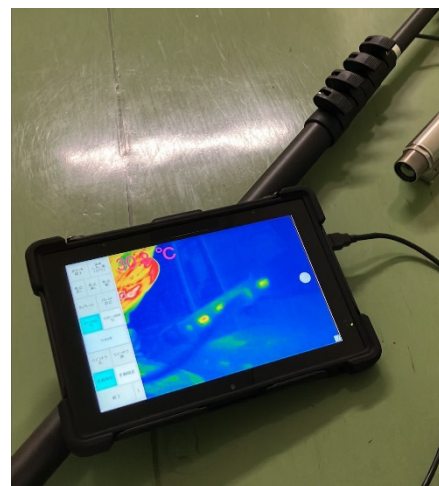
最高温度領域をリアルタイム検知し異常高温部を特定できます。観察画像はワンタップでタブレットPC内部に保存できます。WiFi送信も可能です。



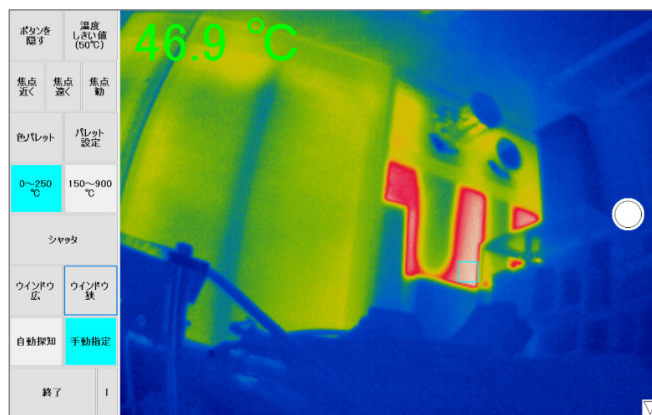
高所観察の様子



収納状態



WindowsタブレットPC



専用ソフトウェア



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2026 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

